

県政を
身近に

あらい絹世の磯っ子レポート

県議会議員



県産木材を使って かながわの森を育て守ろう

磯子区の三井杉田台自治会の会館が新たに建て替えられました。自治会館は、外壁、土台、柱、梁、床、階段、壁などにたくさんの木が使われていますが、このうち90%以上が神奈川県産の木材となっています。県産木材を使用した民間施設は横浜市内では初めての取り組みです。神奈川県内には丹沢山地や箱根外輪山などを中心として、広い地域でスギやヒノキが植栽されていますが、このヒノキの整備を行うため枝打ちや間伐等により生産される無垢建築用材としては利用が難しい「節や曲がりの材」や「虫被害材」を利用したヒノキ合板も会館の床や壁に使われています。

神奈川県では平成7年度から緑豊かな森林づくりを進めるため、森林や木材業関係者の民間事業者と連携しながら県産木材の普及PR活動や県産木材の製品開発・利用促進により県産木材の需要拡大を進める「かながわ木づかい運動」に取り組んでいます。一部金融機関ではこの「木づかい運動」に賛同し、県産木材使用住宅を対象に一定の条件を満たせば住宅ローン金利を差し引く制度を設けています。又、県では県産木材を使用した公共施設を対象とする補助制度があります。

かながわの森林から生産される「県産木材」を使用するには森林の整備が必要です。間伐を促進し森林を循環させることは、神奈川県緑豊かな森林を保っていくことにもなります。日本の緑被率（山や緑地の国土に占める割合）は67%で、フィンランドの69%に次いで世界2位です。横浜市では1980年に45.5%だったものが2009年には29.8%に減少しています。豊かな活力ある森林を目指し森林を適切に維持管理していくことは、表土の流出や土砂崩れといった災害を防止したり、良質の水を将来に渡って確保する事ができます。さらに、地産地消を行うことで県外材の過剰な消費や、無駄な輸送エネルギーを抑制することもできます。

真新しい同自治会館で、心安らぐヒノキの芳香、やわらかな木のぬくもりに触れるにつけ緑保護の大切さを再認識するとともに、水害・土砂崩れの防止、良質な水の確保、森林の産業、森林浴など「緑の恩恵」にも思いを致すことになりました。



三井杉田台自治会は一戸建ての住宅地からなり住民の約70%が高齢者で、会館にはエレベーター一基が設置されています。エレベーターの付いた二階建ての町内・自治会館は全国でも珍しいもので、これからの地域の住民施設を考えるうえで参考になると思います。

あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜双葉小・中 / 高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 防災警察常任委員
- 産業振興・地域活性化特別委員



平成24年度神奈川県が行う磯子区での新たな取り組み

●「多世代近居のまちづくり」とは？

子どもから高齢者までの多世代が気軽に行き来できる地域に暮らし、子育てや高齢者支援などで互いに支えあい、誰もがいきいきと生活できるまちづくりです。

●取り組み内容

神奈川県と横浜市・UR都市機構が連携し、空き店舗・空き家を活用した高齢者や子育て支援施設づくりや高齢者・子育て世帯の住み替え支援など多世代近居まちづくりを計画していきます。

●整備場所：洋光台地区

多世代近居まちづくり

●「ゾーン30」とは？

生活道路の速度規制を30キロ以下と設定し、抜け道利用や自動車の走行速度を抑制することで歩行者等の安全を確保します。

●取り組み内容

ゾーン30の設定区域であり制限速度が時速30キロ以下であることを示す標識や路面標示を区域入口に整備したり、道路の中央線を消して1車線とする・路側帯の設置や拡幅により道路を狭くすることなどで制限速度が守られるようにします。

●整備場所：洋光台地区

ゾーン30の実施

議会あれ？これ？

現在、県議会議場は新庁舎にありますが、昭和41年までは現在の本庁舎に議場がありました。この本庁舎は昭和3年に建てられ、現在の本庁舎は4代目です。

平成8年には国の登録有形文化財に指定され、横浜税関本関庁舎(クイーン)、横浜市開港記念会館(ジャック)と共に、横浜の3塔として、「キング」の愛称で現在も県民の皆さんに親しまれています。

本庁舎にあった議場は現在、県庁大会議場になっており、予算委員会の会場としても使用されます。



次回の お題は 「雨」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みはFAXで(締め切りは5月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集

先月のお題は「こども」
沢山のご投稿有り難う
ございます

ヒナ誕生
みんなでこのとき
待っていた(Aさん)

ランドセル
背負って年金
相談し(Tさん)

道聞けば
スマホで答える
子供たち(丸さん)

子どもたち
どの子も我が子
宝物(「ちゃん)